

今の花子さんの状態に応じて
デイサービスの時間の調整、
一郎さんの介護疲れに合わせて
お泊まりもできます

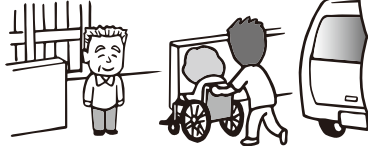
本人に合わせた
時間や回数で
訪問サービスも
利用できて
花子さんも安心
できるのでは
と思います

なんか
想像つか
ないわ…

例えばこのような
イメージです

今までのデイサービス

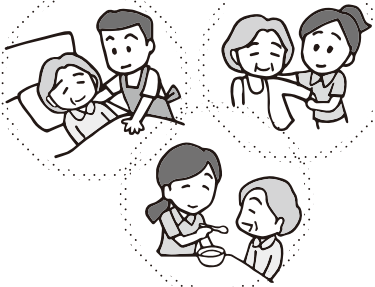
玄関までの送迎



痒いところに
手が届くって
感じかな

小規模多機能型居宅介護

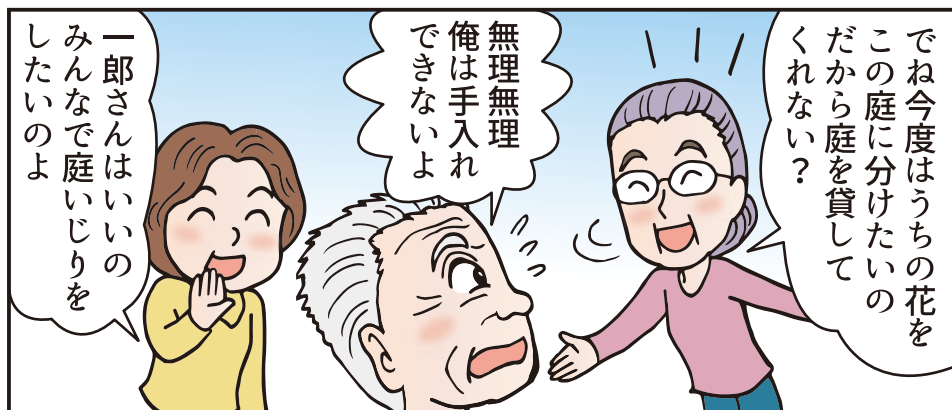
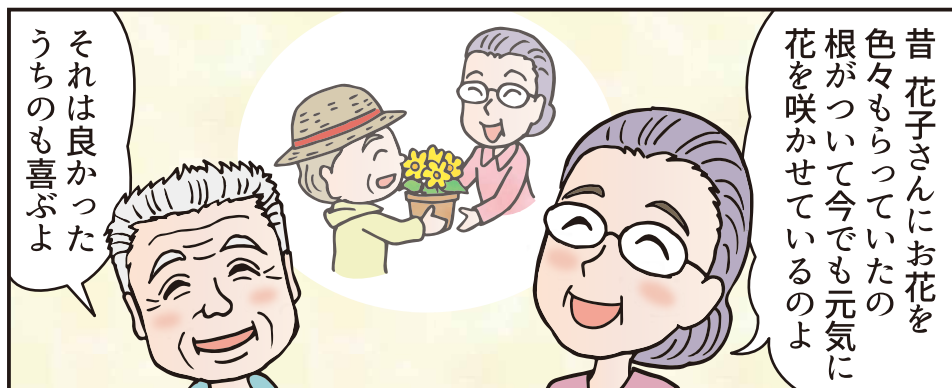
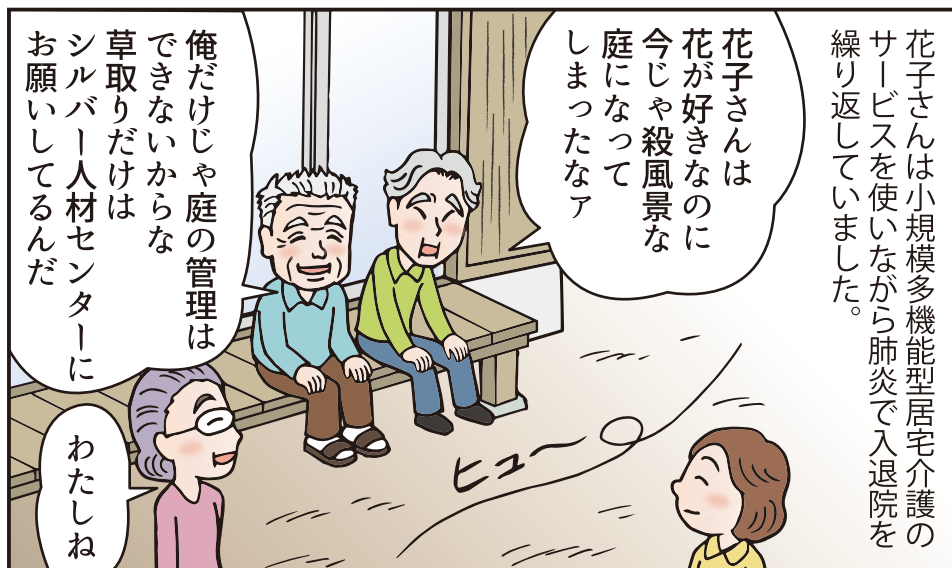
デイサービスから帰宅後も
訪問介護、ヘルパーさんを
続けて利用できる

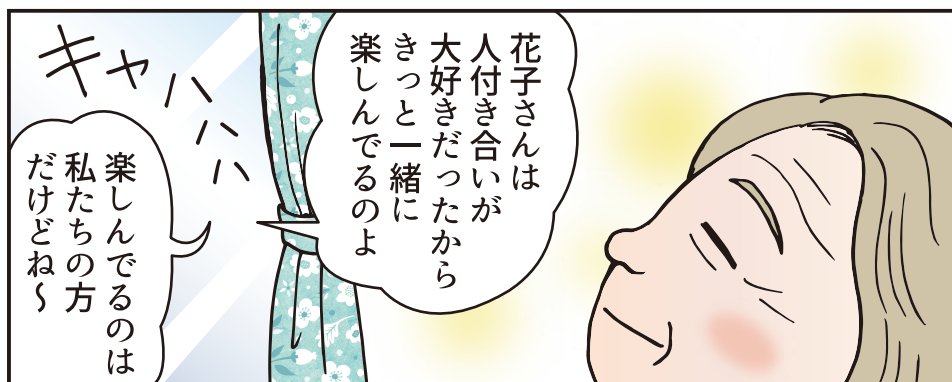
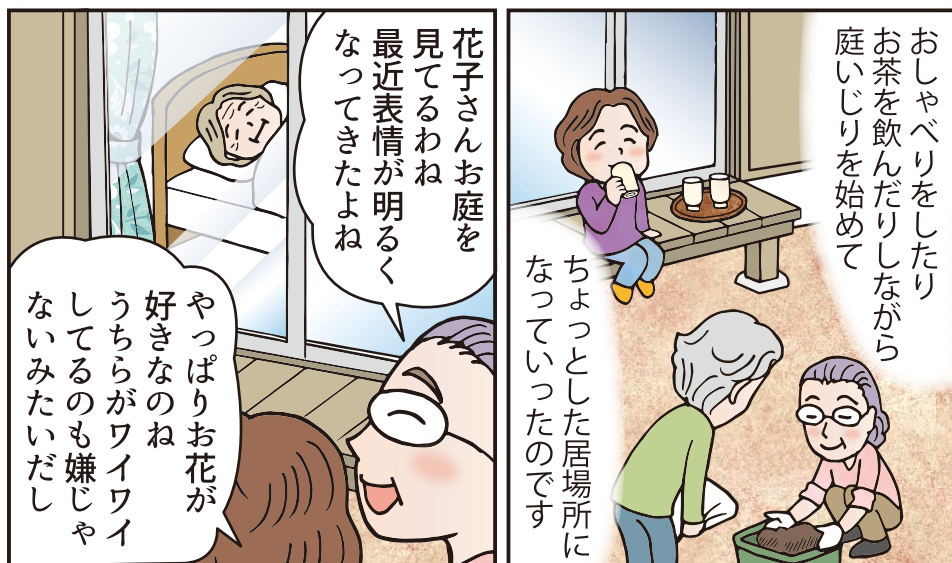
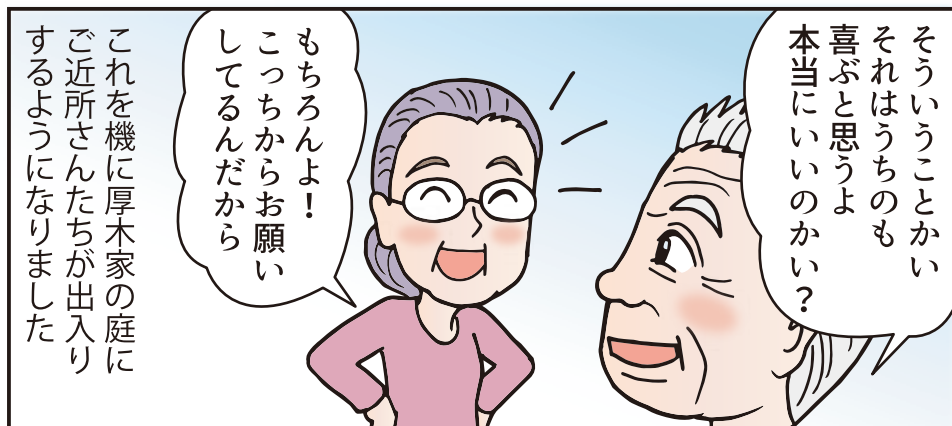


先が見えない介護は
無理をしたり責任感で
すべて背負ってしまうと
続けられなくなります

困り事は
みんなで解決に
向けて対応
します

ありがとうございます
よろしく願います





花で埋めつくされた庭に
足を止める人が出てきました
以前花子さんが作っていた
庭に近づいてきたのです

花子さんは庭をずーっと眺めて
いることが多くなりました

とうさん
とうさん

なんだ？

おはな
きれいな
わたしが
うたた
おはな…

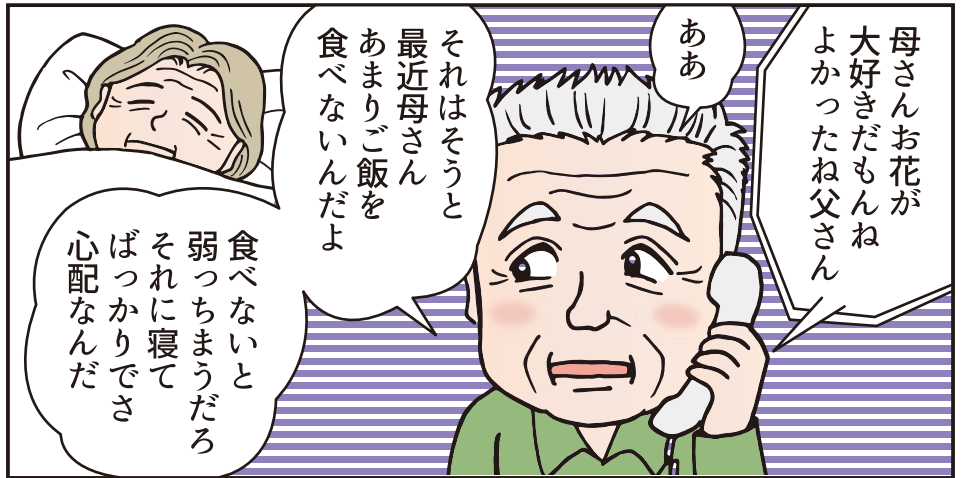
みんなに
わけて
あげて…

何言ってるんだ
これはみんなが
植えたんだよ

わたしが
うたた
おはな
みんなに
わけて
あげて…

そうだな
そうするよ

みんな
よろこぶわ



一郎さん、今日はこれからの花子さんについて大切なお話をさせて頂こうと思います

今の花子さんは身体が衰弱して眠っている時間が長くなっています

無理に起こそうとしても身体がそれに反応できる状態ではありません

これは病気ではないんです今までと違い救急搬送して病院で治療をすれば治るという状態ではありません

でもごはん全然食べられないから栄養入れてやらないと…

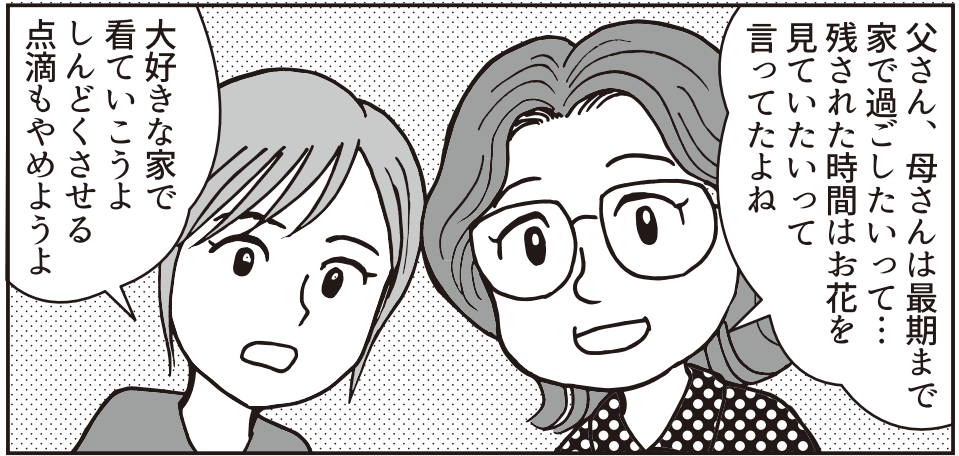
点滴はしてもらえないんですか？

今の花子さんの状態ですと無理に点滴しても栄養や水分を処理できないでしょう

かえって身体を苦しめてしまうことになります

母さんはこの先長くないってことか？俺はもっと生きていてほしいんだよ

死んでいなくなってしまうのと寝たきりでもここにいてくれるのでは全然違うんだよ



救急車は呼ばずに
訪問看護師の藤原さんに
連絡してください
藤原さんはすぐに
私にも連絡してくれます

ふっ
藤原さん

母さんが
苦しそう
なんです

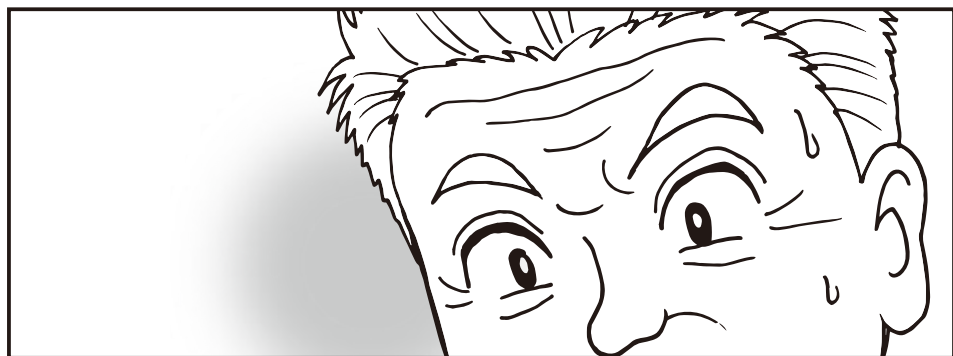
救急車を呼ぶと病院に
搬送されることになり
心臓マッサージをされたり
人工呼吸器がつけられる
こともあります

先生も言っ
ていましたよ
ね
花子さんは苦
しくないです
よ
大丈夫です
すぐに向か
いますね
そばにいて
手を握
ってあげて
ください

はい…

花子……

はあ はあ



花子：
ありがとう



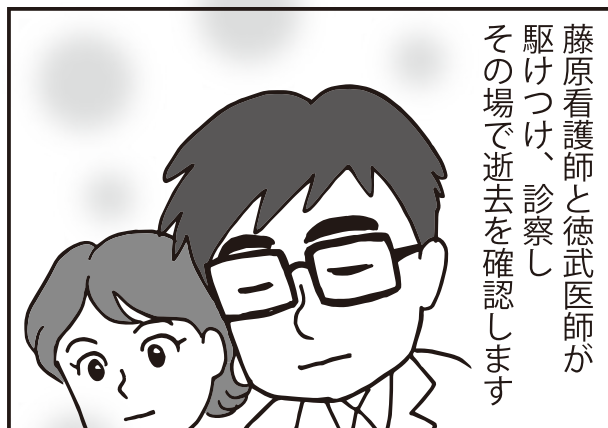
花子さんは息を
引き取りました

顔はむくみもなく
とても穏やかで
凛としていました



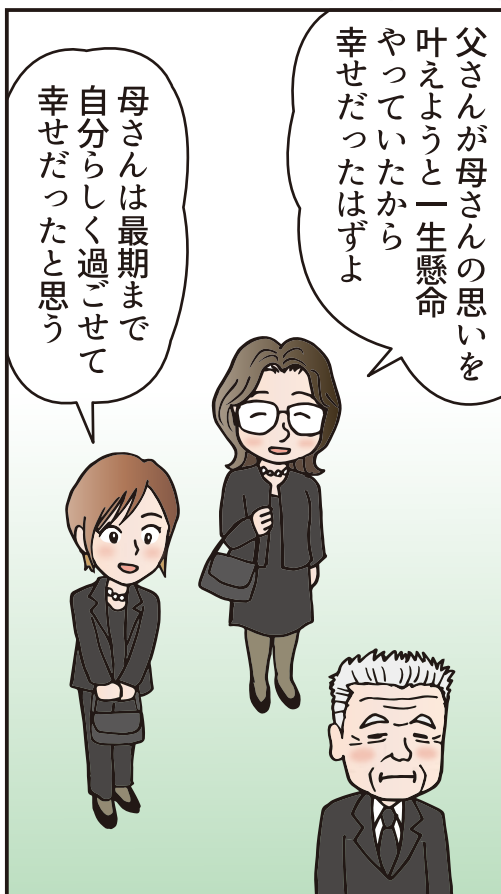
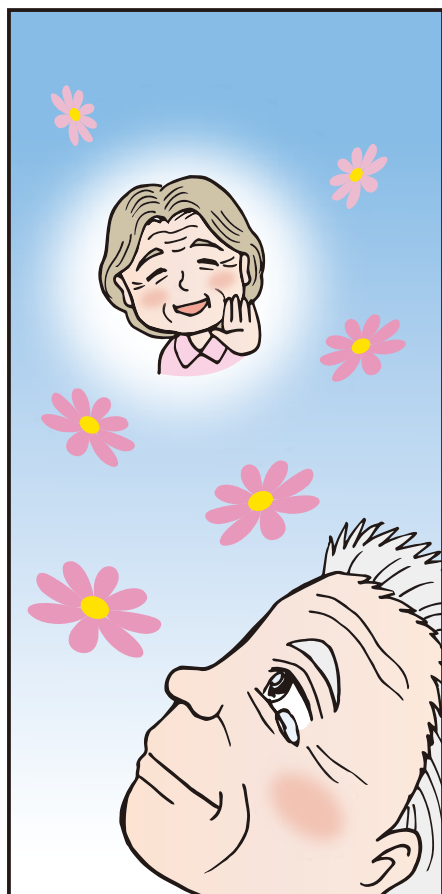
本人の天寿を全うすることを
医療がじゃまをしない
そんな自然な看取りも
選択肢にあるのだということを
花子さんが教えてくれたのです

藤原看護師と徳武医師が
駆けつけ、診察し
その場で逝去を確認します



そして夢子とさつき
藤原看護師で
花子さんの身体を
きれいに拭き
お化粧をして
お気に入りだった洋服を
着せてあげました

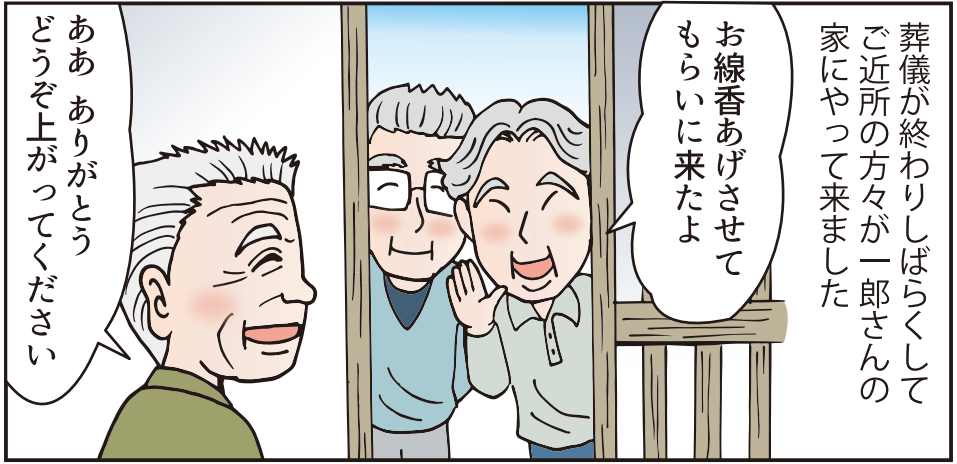




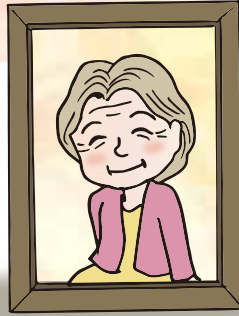
葬儀が終わりしばらくして
ご近所の方々が一郎さんの
家にやって来ました

お線香あげさせて
もらいに来たよ

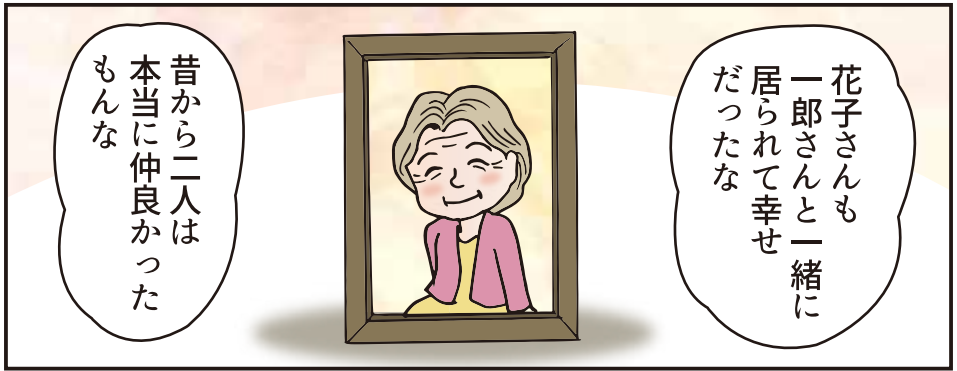
ああ ありがとう
どうぞ上がってください



花子さんも
一郎さんと一緒に
居られて幸せ
だったな



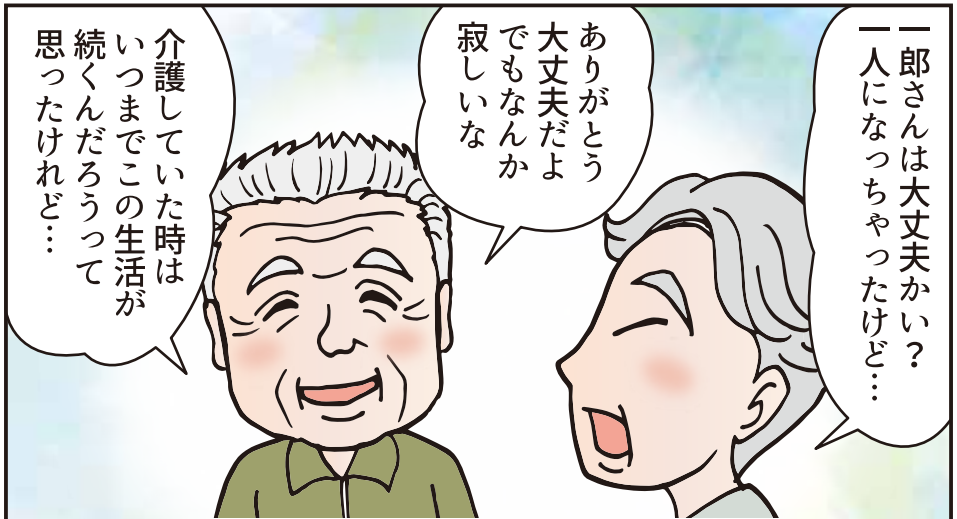
昔から二人は
本当に仲良かった
もんな

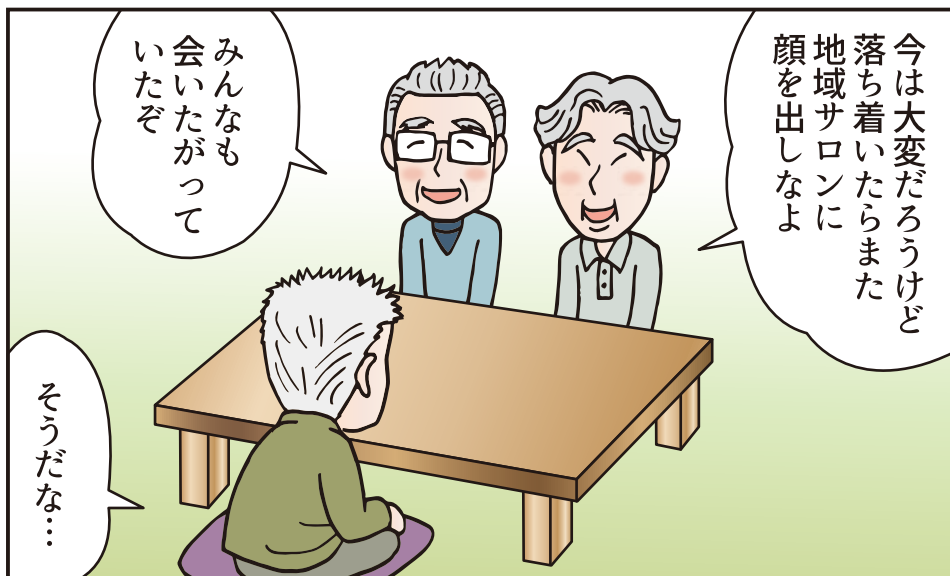
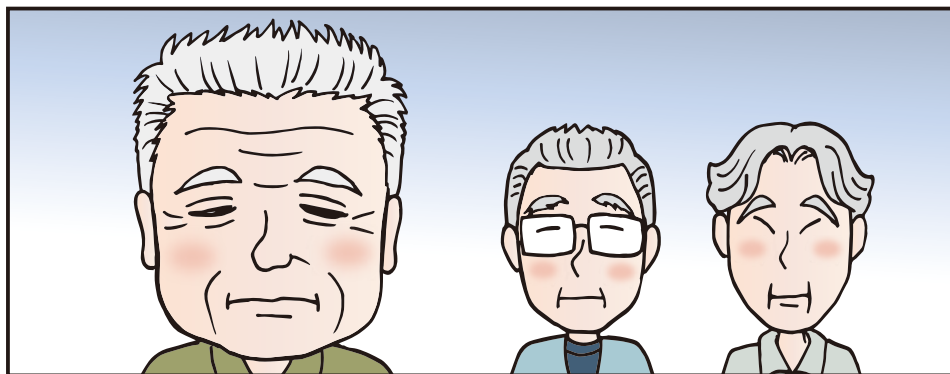
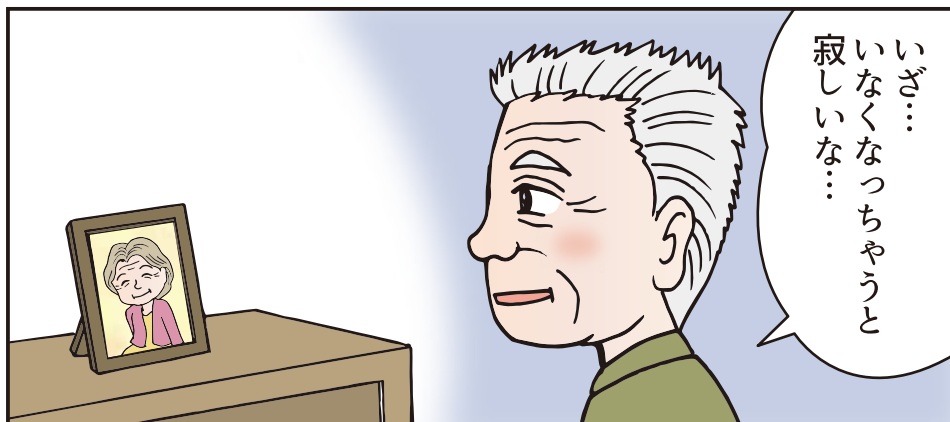


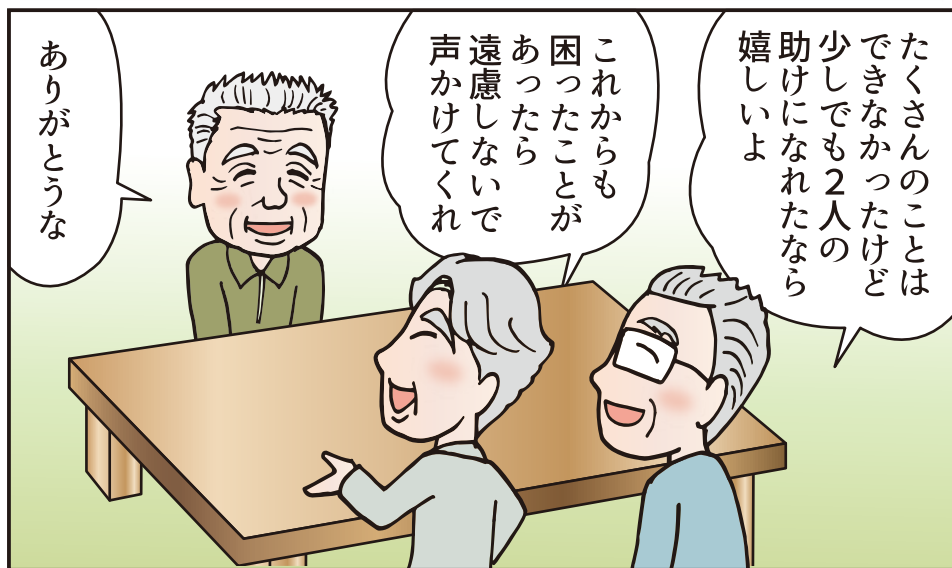
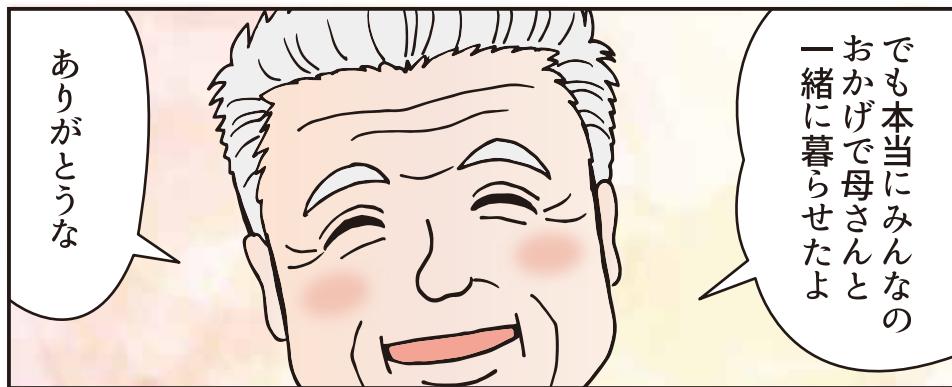
一郎さんは大丈夫かい？
一人になっちゃったけど…

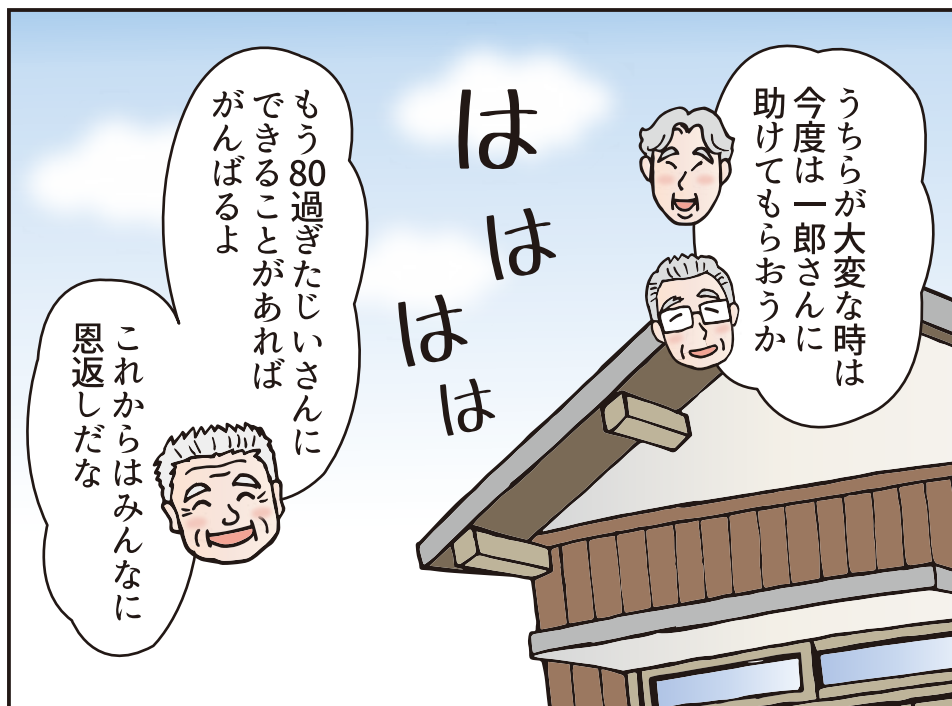
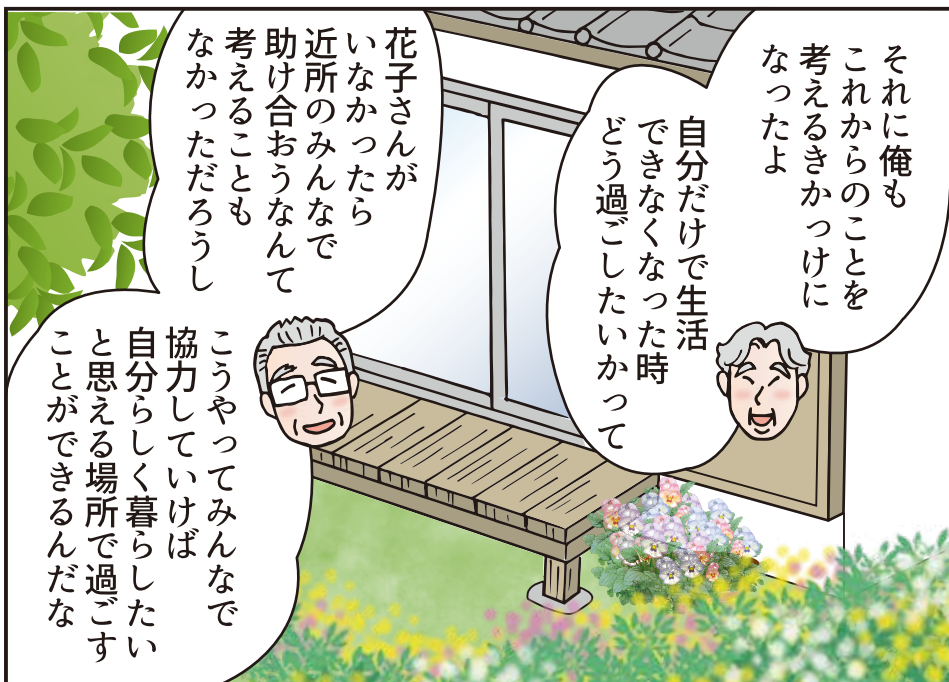
ありがとう
大丈夫だよ
でもなんか
寂しいな

介護していた時は
いつまでこの生活が
続くんだろうって
思ってたけれど…









これからの時代はこれまでのように
病院で死ぬことが当たり前で
なくなるかもしれません

厚木市立病院

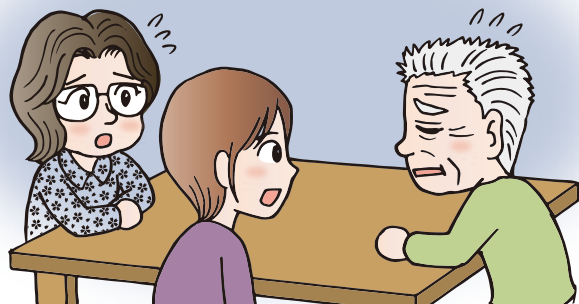
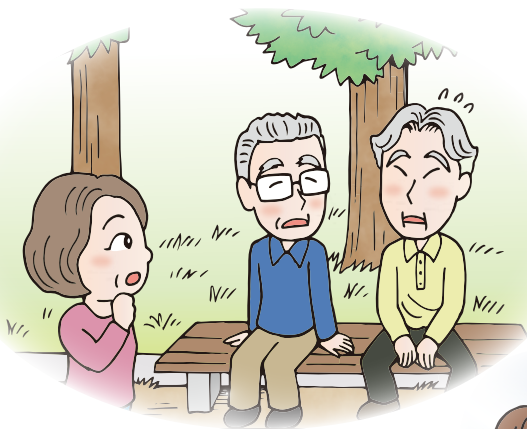
施設を利用するにも数に限りはあり
今は一人暮らしの高齢者も増え
家族に介護を頼めないことも
増えてきています

医療や介護サービスで
まかなえる時間は限りがあり
それで生活のすべてが
完結するものではありません

あまり近所付き合いがない
また近所の人から見れば
介護されている人と
どう接していいのかわからない
ということが多いかもしれません



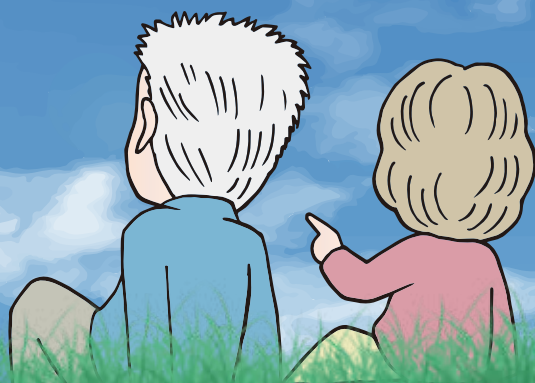
花子さんのご近所の方々は
わからないながらも
少しおせっかいでも
自分たちのできることを
考えました



そして一郎さんと家族は
それぞれ悩みながらも
自分たちらしく花子さんの
最期を迎えました

最期まで自分らしく
過ごすことができる社会

人の生き方や価値観は
千差万別です
正解が決まっている
わけではありません



自分がどう生きたいか
自分らしく過ごすためには
どんなことが必要か

それを実現するために
一人一人ができることを
みんなと一緒に考えていきましよう